

普及活動情勢報告（平成29年2月分）

高吾農業改良普及所

J A コスモスニラ生産部が「新・農業人フェア」に初参加



1月27日に開催された「新・農業人フェア」にJ A コスモスニラ生産部が初参加しました。普及所は資料準備を支援し、当日は出席したニラ部長と7名の相談に対応しました。

相談者からの「農業を始めるのに何が必要か」「農地の確保はできるか」といった相談にニラ部長は「研修が必要」「研修中に地域の農業者と交流し農地の情報も集める」と答え、その説得力に相談者は真剣に話を聞いていました。

普及所は、今後も担い手確保のために生産者や関係機関と連携し、産地の担い手確保の取り組みを促進して行きます。

J A コスモス佐川支所苺部会、品評会を開催



1月25日、J A コスモス佐川支所で苺部会の品評会が開催されました。出品した17戸の生産者はパック詰めされたイチゴをそれぞれに持ち寄り、普及所は関係機関とともに果皮の色や果形、詰め方などを審査しました。

品種は全て「ゆめのか」でしたが、最優秀に選ばれたイチゴは参加者から鮮やかな赤色と光沢の強さを高く評価されていました。

普及所では今後も高品質ないちご生産を目指して技術指導を行っていきます。

ダイダイの収量増加のために ～(農) ヒューマンライフ土佐がせん定講習会を開催～



2月20日、ヒューマンライフ土佐が生薬のキジツやトウヒの原料であるダイダイのせん定講習会を越知町で開催しました。講習会には栽培年数が少ない生産者を中心に38名が参加しました。

当日は普及員が基本技術の説明とせん定を実演し、その後せん定実習を行いました。参加者らはせん定枝の選び方や樹形作りなど熱心に質問し、関心の高さがうかがえました。

普及所では、ヒューマンライフ土佐の薬用作物専門指導員と連携しながら、生産振興のため支援を継続して行きます。